

10/1
(木)

各地で十五夜行事 力合わせ綱引き

旧暦の8月15日にあたる10月1日、町内各地で十五夜行事がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止や規模縮小で実施される中、唐隈集落では、感染対策を取り伝統の綱引きを実施。育成会の会員らによってつくられた綱を子どもたちが掛け声を合わせながら力いっぱい引いて地域の安全と新型コロナウイルス感染症の早期収束を願いました。

城川内小6年の田ノ上賢作君は「唐隈の子ども

たちはみんな元気！コロナに負けず、一生懸命に綱を引いた」と満足げでした。



掛け声を合わせて懸命に綱を引く子どもたち

10/1
(木)

郷式さん親子に感謝状を贈呈 連携プレーで水難救助

10月1日、漁船から海に転落した本町の町民を救助したとして、救助に関わった郷式清敏さん、洸勝さん親子に、長島町と天草海上保安署から、感謝状が贈呈されました。

7月26日の午後6時頃、町民が漁船で操業中にバランスを崩し、海に転落。約2時間漂流していたところ、出水市から本町へ船釣りに来ていた郷式さん親子が海上で助けをを求める声に気付き、転落者を発見して救助。捜索を始めていた本町の救助員に引き継ぎました。

感謝状を受けた清敏さんは「海難事故対応の講習会は受けたことはあるが、事故に遭遇したのは初めて。不安だったが、息子と連携を取り無事に救助できてよかった。今回の経験を生かし、今後も海難事故防止につなげたい」と話しました。



郷式清敏さん(写真中央左)と洸勝さん(同右)

10/2
(金)

平尾中で福祉体験学習 身近な福祉学ぶ



車いすを操作する生徒たち

10月2日、平尾中学校で福祉体験学習があり、1年生17人が関節が動かしにくくなった時の装具やアイマスクを着けた歩行を通して高齢者の立場になってみたり、車いすを操作したりして身近な福祉について学びました。

今回は県介護実習・普及センターの推進員を講師に招き開催。生徒らは装具を着けた高齢者疑似体験で視界や体の不自由さを感じたほか、障がいをもつかたが扱いやすいユニバーサルデザイン(UD)の食器などに触れて思いやりへの理解を深めました。

村本^{こうすけ}拓輔さんは「装具を着けて歩くのは大変だった。お年寄りに優しくしようと思った」と話しました。